

# 平成30年度 尾道特別支援学校 研究構造図 (全体)

## 目指す子供像

笑顔であいさつ よく学び 心身をきたえる子

### 聴覚障害部門

<聴覚障害部門 研究目標>  
「課題発見・解決学習」における、  
ICTの効果的活用の整理

聴覚障害部門  
グループ

### 知的障害部門

<知的障害部門 研究目標>  
主体的で深い学びを育成するための  
手立ての工夫

小学部

中学部

高等部

主体的で深い学びへの取組→意識の向上のため、指導案の  
単元計画に「主体的で深い学びの姿」を記入する。  
ICT機器を活用した授業を実施する。

#### 【幼児児童生徒の変容】

実態把握：  
4月～5月、  
7月～8月  
ICT機器の活  
用を書き込んだ  
単元計画を作成  
し、授業を実施  
する。

個別研究経過  
報告：  
1学期、2学期  
4つの過程を  
意識しながら、  
取組内容を共  
有する。

取組をまと  
める：12月  
ICT機器  
の活用成果と課題を  
まとめる。

#### 【児童生徒の変容】

実態把握：  
4月～5月  
1教師1児童  
生徒1教科の  
目指す姿を設  
定する。

取組経過確認：  
7月、10月  
目指す姿につ  
いて、ICT機  
器の活用など、  
取組内容を確認  
・改善する。

変容を見る：  
12月  
目指す姿につ  
いての変  
容を見る。

## 研究テーマ

主体的で深い学びを目指した授業づくり

～障害に応じたICTの活用と指導・工夫を通して～

### 研究の推進

一人一教材教具作成

月1回学部研  
グループ研究

サテライト研修

公開授業研究会  
11月17日(土)

校内授業研究会

授業力アップ授業研究  
(一人一授業)

評価指標に基づく客観的評価：

- ①保護者アンケート
- ②教職員アンケート
- ③幼児児童生徒の変容※各学部ごと

研究紀要の発刊